

身近な「ふ・し・ぎ」を見つけよう！  
 五感を使つての遊びから「科学するところ」の種まきへ  
 源氏前保育園（東京都品川区）

【5歳児】

『染め物』～染め物から気付く色の不思議さ～ 5歳児

4月、園庭のわくわくらんどが工事中のため、近隣の公園で遊ぶ。木々の中に入って行き、葉っぱや花に触れることを楽しんだ。何気なく触った葉っぱを「ギュッ」と摘んだ子が、指に付いた葉っぱの色に気付く。

子ども「どんな葉っぱにも色はあるの？」

保育者「他の葉っぱも、みんな色が出るのかな？」

と子どもの関心を受け止め、草集めを始め、「色みつけ」を楽しんでみることにした。

4月12日 草や葉っぱを採りに行く。

子ども「どんな葉っぱがいいのかなー」「どれを採ればいいんだろうね」と迷いながら集めていた。

子ども「あっ、この葉っぱ、ふわふわする」との声に皆が集まって触る。

子ども「ね、ね、どこにあるの？」と動き始めた。

子ども「これはどうだろうか」と探す楽しみ方が変わってきた。

4月13日 鍋で草木を煮て色出しをする。

朝から楽しみにしていた子どもたち。「せんせい、鍋やるんだよね」と声を掛けてきた。



採ってきた草木  
 ・よもぎ  
 ・はこべ  
 ・たんぽぽ  
 ・栗の実



あっ、色が出  
 てきた！

お茶のにおい?!

草のにおいが  
 してきた。



輪ゴムを使って、絞  
 った白い布を鍋に  
 入れる。



出来上がり！

6月5日 ランチョンマット作り

今度はわくわくらんどに咲いている花で染物をやってみよう！ということで、保育者「今、わくわくらんどに咲いている花は？」子ども「何？」保育者「マリーゴールドっていう名前の花だよ」そこで、マリーゴールドの花探しから始める。子どもたちはすぐに見つけ、花を採る。



この花だよ。  
 ぼく、知ってる



はさみでうまく  
 切れるかな～

これが、マリーゴ  
 ールドなんだよ



皆が採ってきたマリーゴールドの  
 花を袋に入れる。



ランチョンマットの出来上  
 がり！「お楽しみ会」のカレー  
 パーティーで使いました。



どんな色が出るのか予想を立てながら、  
 楽しんでた。

子ども「花が黄色だから黄色だよ」

子ども「オレンジもあるからオレンジ？」

子ども「違う色かもよ」

きれいな黄色の色が出る。

子ども「やっぱり黄色だったね」



## 7月17日 絵の具での折り染め（和紙を使う）

・草木染めと違って、はっきりと色が出ることで好きな色を付けて楽しんでいた。

- ・和紙の折り方から工夫している。
- ・細かく折ることで色が出る模様が違うことに気付く。
- ・溶かした絵の具に和紙を浸し、色がにじんでいく様子を発見して楽しんでいた。

和紙を広げた時、

子ども：「きれい」

子ども：「不思議」と感激の声が聞かれた。

子ども：「広げるまでどんな模様かわからないのが面白い」

子ども：「今度はどんなふう折ろうかな・・・？」

折り方の工夫が始まる。



折り染めを使って、「あさがお」を作り、保育室に装飾する。

## 7月23日 わくわくらんどにある、赤しそ、マリーゴールドで色出しをする。 どんな色になるか？においは？と楽しんでみる。



「どんなにおい？」

「いいにおい」  
「うめぼしのにおい」  
「すっぱいにおい」  
「ちょっといいにおい」  
「めんつゆみたい」

### 考察

普段から触れている葉っぱや花ではあるが、指に付いた葉っぱの色から「あれ、葉っぱの色かな？」と気付き、染め物に広がり、もっと他の花や葉っぱはどうなの？と興味が倍に広がった。

染め物を何度か行っていく中で、「自分の色を作りたい」という気持ちへと深まっていった。そのことが色を作ることへの期待感へつながり、楽しんで遊ぶことができた。

今後も引き続きいつでも色づくりができる環境を準備し、いろいろな素材を使って色への関心を高めていき、「どんな色が出るかな？」「こんな色を作りたい！」「この色とこの色を合わせると何色になるかな？」など、友達と一緒に楽しみながら新たな活動を広げていきたい。

### 〔参考資料〕

「わくわくらんど 環境設定計画」0歳児～2歳児・3歳児～5歳児

### みどころ

園内外の自然環境に触れながら活動が展開され、子どもたちの興味が広がっていく様子がわかります。このように環境を存分に活かすためには、保育者が何処に、どのような環境があって、どんな時期に子どもに気付かせたり触れ合わせたりすると効果的か、そこからどのような経験へ広げていくかなど、計画的に押さえておくことが重要です。こうした記録や長期的な計画を基にしながら、時期に応じて環境を整えたり、子どもたちと一緒に遊びや生活の場を作っていくことは、園生活の豊かさにつながっていきます。

